

2018年度 活動報告書

任意団体 OHANA

【活動方針】

2017年度は中央労金助成金プログラムを受け、「ハンドメイド（ものづくり）」（時間や場所の提供）を通して、性犯罪被害者の心身の回復及び、地域のイベントでハンドメイド作品を展示販売する事で社会参加の機会に重点をおいた活動をしてきた。そうした地域のイベントに積極的に参加していく中で、神奈川県内の他団体や公的機関（主に社会福祉協議会）とネットワークを築くことができた。2018年度は昨年度に繋がる事ができた団体との繋がりを強化しつつ、当団体の活動目的である「ものづくり（お料理、小物雑貨、アクセサリー作り、IT）、及び「ものづくり」の場を通して、性犯罪被害当事者が地域の人々と繋がり、社会から孤立する事のなく、安心して過ごせる地域をつくる事、また、被害当事者がものづくりのスキルを身に付け、社会復帰のための就労支援をする事」活動を行う事ができた。

【事業内容】

1 ハンドメイド（ものづくり）を通してサバイバーの居場所づくり（助成金プログラム）

① 毎月第二、第四木曜日に無料のハンドメイドピアサポート、電話、来所によるピアカウンセリングを実施。（夏季休暇、年末年始は除く）

会場：かながわ県民センター相談室1

実施期間：2018年6月～2019年5月

従事者数：1～2名

② 地域イベントへの出店参加、作品の展示販売

参加イベント：子育て地蔵祭り、中川ふれあいフェスタ、オンナのための朗読会

実施期間：2018年8月、10月、12月

従事者数：1～2名

③ 公開勉強会主催（性暴力被害当事者ケア勉強会と被害当事者から学ぶ、体験する、考えるワークショップ）

会場：かながわ県民センター12階第二会議室

実施日時：2018年10月27日（土曜日）13:30～18:00

共催：特定非営利活動法人 虹色のたね

協力：神奈川県社会福祉協議会

講師：池畑 博美氏

参加人数：8名

2 神奈川自助グループ助け合いネットワーク事業（マッスル会）

立ち上げの主旨：県社協に登録する各グループ同士の繋がりを強化し、グループが抱える課題を話し合い、補い合って自分たちの活動を次世代につなげていく事。

場所：かながわ県民センター

実施期間：2018年8月～2019年5月

参加団体：4～5団体

主な議題：各グループの困りごと、ウェブに関するプチ勉強会等